

科研費等による環境分野への助成実績

上記予算の他に、年度の途中で助成課題が決定する制度があるが、特に環境分野についての平成12年度実績は以下のとおり。

科学研究費補助金（文部科学省担当分）	7億円
未来開拓学術研究推進制度	1.1億円
科学技術振興調整費	1.7億円

なお、額に関しては現在分類を再調整中であり、今後変更があり得ます。

1. 科学研究費補助金 7億円

大学等の研究者又は研究者グループが計画するあらゆる分野の基礎研究のうち、学術研究の動向に即して、特に重要なものに対して、研究費を助成。

助成期間：原則6年以内

主な課題名：・ゼロエミッションをめざした物質循環プロセスの構築

- ・対流圏化学グローバルダイナミクス
- ・内分泌攪乱物質の環境リスク
- ・極域氷床深層コア解析による地球環境変動の復元研究
- ・アジアモンスーン地域におけるエネルギー・水循環
- ・北極域における気候・環境変動の研究
- ・成層圏力学過程とオゾンの変動及び気候への影響

2. 未来開拓学術研究推進事業（日本学術振興会） 11億円

我が国の指導的研究者を中心に構成する未来開拓学術研究推進事業委員会により選定された、各研究分野ごとに設置された研究推進委員会が、研究プロジェクトを企画・立案。

助成期間：原則5年間

主な課題名：・水・物質バランスの時空間変化に着目した人間活動の環境影響評価とその軽減方策に関するシステム的研究

- ・有害な環境汚染化学物質の人体影響評価技術の開発
- ・高温多湿気候に適応する環境負荷低減型高密度居住区モデルの開発
- ・アジア地域における経済および環境の相互依存と環境保全に関する学術的研究
- ・地球環境情報収集の方法の確立
- ・中国南部における石炭エネルギーを基軸とした環境共生型都市システム構築に関する技術開発研究
- ・地域社会に対する開発の影響とその緩和方策に関する研究

3. 科学技術振興調整費 17億円

科学技術会議の方針に沿って、各省庁、大学、民間等の研究能力を結集して基礎研究等を総合的に推進し、科学技術の総合的な振興にあたり、必要かつ重要な研究業務に係わる総合的な調整を行う。

助成期間：原則5年間

主な課題名：・北太平洋亜寒帯循環と気候変動に関する国際共同研究（第 期2年目）

- ・海底熱水系における生物・地質相互作用の解明に関する国際共同研究（第 期2年目）
- ・風送ダストの大気中への供給量評価と気候への影響に関する研究（第 期2年目）
- ・雲仙火山：科学掘削による噴火機構とマグマ活動解明のための国際共同研究（第 期3年目）
- ・炭素循環に関するグローバルマッピングとその高度化に関する国際共同研究（第 期1年目）
- ・GPS気象学：GPS水蒸気情報システムの構築と気象学・測地学・水文学への応用に関する研究（第 期2年目）
- ・全地球ダイナミクス：中心核にいたる地球システムの変動原理の解明に関する国際共同研究（平成12年度で終了）